（別紙様式1）

2023年度「食と教育」学術研究申請書

提出日　西暦　　　　年　　月　　日

1. 研究代表者

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ氏　名 |  |
| 生年月日 | 西暦　　　年　　　月　　　日　生 | 年齢 | 　　歳 |
| 所属機関・部局・職 |  |
| 所属機関住所等 | 〒TEL　　　　　　　　　　FAX |
| E-mail |  |
| 自宅住所等 | 〒TEL　　　　　　　　　　FAX |
| 研究代表者の略歴＊必要に応じて、枠を拡張して記載すること。 |

1. 研究課題

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 | 研究テーマNo |
|  |  |
| 研究形態　　　個人　　・　　共同　　　(該当項目に○を付してください) |
| 共同研究の場合の研究メンバー(氏名、所属機関・部局・職、研究の役割を明記) |

1. 他の団体等から助成中・内定または申請中の助成の有無等

|  |  |
| --- | --- |
| 本研究に関する他からの研究助成の有無 | 有　・　無　　(該当項目に○を付してください) |
| 助成団体等名（すべて） | ＊必要に応じて、枠を拡張して記載すること。 |
| 他からの助成金額の合計（内定・申請中を含む） | 　　　　　　　　円 |

1. 目的･計画･方法（図も含めて①～③合わせて2,000字程度）
評価委員会では、以下の評価項目で評価するため、簡潔・明瞭・論理的に、十分に説明すること。

**・新規性**これまでの乳に係る食育研究にない研究か

**・妥当性**研究目的に対する研究手法と結果の導き方が適切か

**・社会的貢献性**乳を活用した食育で社会的課題や食育課題を解決する汎用性・実現性の高い研究か

以下の項目をたて、項目ごとに簡明に記述すること。

1. 研究の背景及び目的並びに仮説
※国内外の先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献を具体的に示すとともに、研究の目的と仮説で、新規性を説明すること
2. 研究の計画および方法、評価の方法

※研究の計画・研究の方法・評価の方法を具体的に記載し、妥当性を説明すること

1. 本研究の特徴点と意義

※社会的貢献性を説明すること

※特定研究No.②を選択の場合は、どのような視点からSDGsと乳の利用をつなげるか、簡潔に記載すること

1. 外部への研究発表計画（学会、紀要、学術専門誌等の名称を記入する。）

|  |
| --- |
| ＊必要に応じて、枠を拡張して記載すること。項目③の最後に合計字数を記載すること。 |

1. 調査・研究期間（1年単位）

2023年4月　～　年　3月

1. 支出計画（複数年研究の場合は、総額・各年<研究開始年度を先頭>の順で、枠を複写して作成）

研究総額（又は○年度研究）　　　　千円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出基準 | 経費項目 | 積算基礎 | 金額(千円) |
|  |  |  |  |
| ＊必要に応じて、枠を拡張して記載すること。 | 合　計 | 千円 |

1. 調査・研究代表者の研究業績目録

本項目にてこれまでの研究の信頼性･妥当性を持つ研究を行えているかを判断する。(過去3ヵ年間の調査・研究業績、査読の有無を記入)

|  |
| --- |
| 　　＊必要に応じて、枠を拡張して記載すること。 |